

**岐阜県高校の水泳授業の現状**

県立岐阜高等学校  
糸井 紀



**自己紹介**

名前： 糸井 紀(いとい おさむ)  
 年齢： 43歳  
 出身： 岐阜県岐阜市  
 教科： 保健体育・情報  
 勤務歴： 県立多治見北高校、県立中津高校  
 : 岐阜市教育委員会市民体育課(2012岐阜国体水泳競技担当)  
 : 岐阜市教育委員会学校保健課  
 : エクアドル共和国スポーツ省



**水泳の活動**

岐阜県水泳連盟 副理事長  
 国体コーチ  
 ワールドカップ・日本選手権審判員  
 ドーピング検査シャペロン  
 マスターズ大会等参加

その他  
 岐阜県災害時言語サポーター




**最近の岐阜県水泳ピック**

①2019全国スポーツマスターズ  
 2020ねんりんピック開催決定

②前畑秀子物語 朝ドラ誘致活動



**岐阜県の位置**



**1996年 高校の水泳授業開講学校数**

- 岐阜地域→21校中11校
- 西濃地域→14校中 6校
- 中濃地域→15校中 5校
- 東濃地域→16校中 4校
- 飛騨地域→ 8校中 1校

計74校中27校



### 2016年 高校の水泳授業開講学校数

- 岐阜地域→19校中6校
- 西濃地域→12校中4校
- 中濃地域→12校中2校
- 東濃地域→14校中2校
- 飛騨地域→6校中0校



計63校中14校

水泳授業を行う高校数が20年で約半分(27→14)に

### 体育科教育 2016年7月号

•巻頭エッセイ(椿本昇三教授)

「本誌2011年7月号で『プール建て替えの問題点』を指摘していたが、あれから5年を経過しても改善されず、むしろ悪化しており、全国各地でプールの改修が放置されつつある

学校にプールがない中で、水泳授業を行うことは困難を極める。例えば1960年以前の状況、すなわち臨海学校を中心にプールの代替をしていた時代に後戻りする状況を想像すれば、その困難さを理解できる」

岐阜県はまさにこの状況



### 高校プール稼働の現状

- 63校中14校
- 屋外長水路プール → 3校
- 屋外短水路プール → 10校
- 屋内短水路プール → 1校(暖房なし)

#### 必修か選択

- 3年生まで必修 → 6校
- 1年生のみ必修 → 5校
- 全学年選択 → 3校

### 水泳授業が減少した理由

- 水泳が専門の保健体育教員の異動
- プール運営費用
- 管理職の意識
- プール施設の老朽化

この20年でプール閉鎖 → 13校  
 新設 → 0校  
 建て替え → 4校

### 水泳授業校減少を食い止めるために

#### 現在行っていること

- ①他校との水泳授業のノウハウ共有
- ②プール管理のノウハウ共有
- ③高校保健体育研究会での水泳授業の研究発表
- ④文科省中央研修の伝達講習会開催(中高合同)



### 水泳授業校減少を食い止めるために

#### 今後行いたいこと

- ①プールのない学校で水泳集中授業開催
- ②プール新設の働きかけ



かなりの困難……

結局は偉くなるしかない?

岐阜県の高校水泳授業に希望が見えません。

皆さんからアドバイスを頂きたいです。

終わり